

青森県日本海沖合のハタハタ分布調査結果について

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所

4月～6月の各月に青森県日本海の十三沖、高山沖、出来島沖の水深100m、120m、200m、250m、300mに設定した各調査点で、試験船青鵬丸(65トン)によりオッタートロール海底曳を行い、ハタハタの分布状況を調査しましたので、その結果をお知らせします。

調査の結果、0歳魚は5月、6月にごくわずかに分布が見られ、1歳魚でも4月、5月にわずかに分布が見られたのみで、ともに前年の分布密度を下回りました。特に0歳魚の分布密度は2010年の調査開始以来最低で、今後の資源動向が心配される結果となりました。

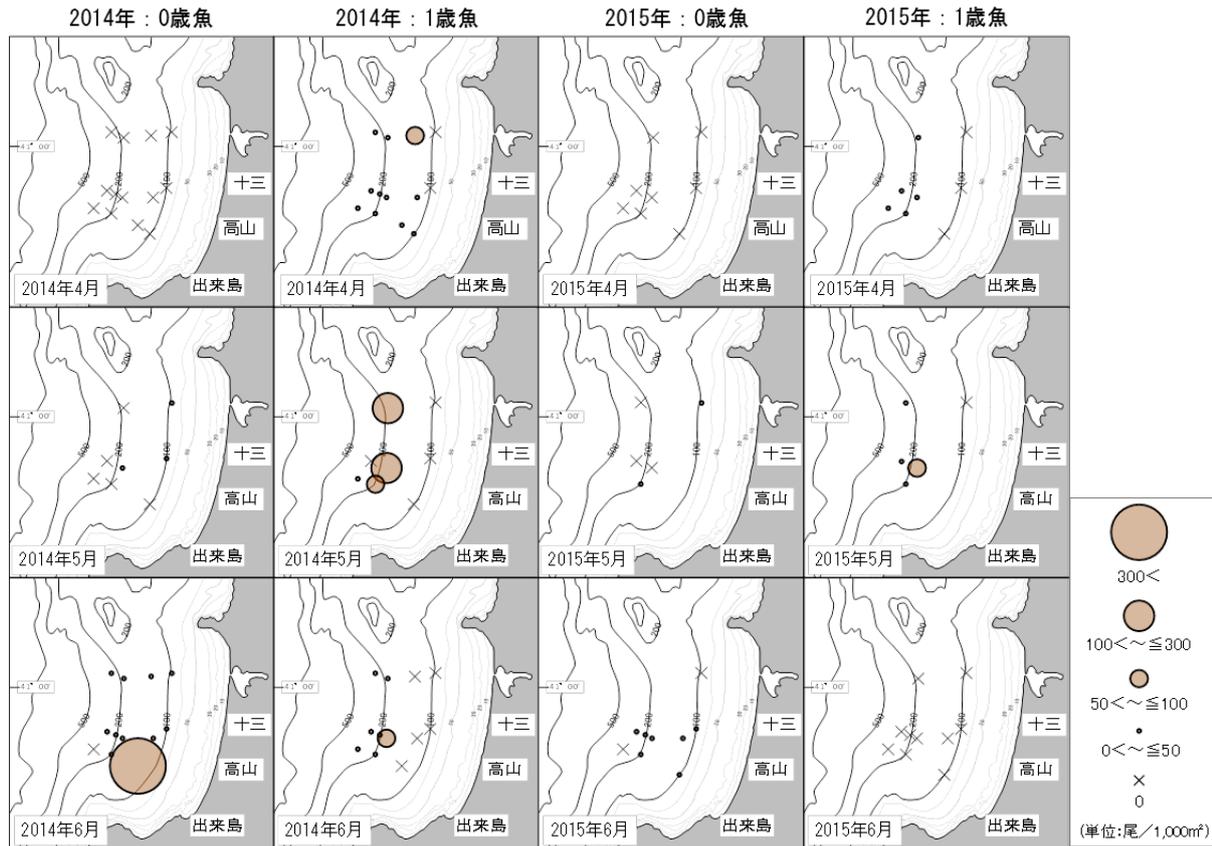


図 オッタートロール海底曳によるハタハタ分布密度